


26年 5月12日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡政治 

記

事業の名称	地域コミュニティ紙発行事業
事業実施前の状況	年間のコミュニティ協議会各委員会が行う事業内容を地域住民にPRし、コミュニティの存在を意識づけるため広報誌を発行する。
事業実施後の状況	25年度3回発行を実施した。事業の実施と発行のタイミングを近くすることで読者の紙面の内容等に興味を持ってもらえた。
事業の効果	「地域の安全性」についてはタイムリーなニュースを取り上げることで、地域の現状を認識するきっかけになった。(毎回直接池田警察の地域情報取材させてもらいました。)
今後の課題等	紙面がマンネリ化してきている。他の地域の情報を知ることが必要ではないか。年1〜2回ぐらい全地域の事業内容が掲載される見れる方法ははないでしょうか。

2014年 2月28日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
 会長名 西岡政治



記

事業の名称	地域内会館備品整備事業
事業実施前の状況	石橋地域内にある各種ボランティア団体の会議毎資料作成者が会議等に間に合うよう忙しい時間をみはらかってコンビニストアや学校のコピーを使用して配布資料を作っていた。
事業実施後の状況	会議用資料は、会議前に全員で速やかに印刷することが出来 会議決定、変更事項もその場で配布することが可能になり 再会議や後日配布の手間が省かれる様になった。
事業の効果	各団体の印刷費負担が軽減され余剰した経費をその他の活動に生かせる様になった。 資料作成者の時間繰りも容易になり合理的になった。
今後の課題	当機の設置場所が2階廊下に置いている為、会議している部屋に印刷する音が届き再三クレームを受けることがあり 会館の空き部屋を整備して格納したい。

以上

平成26年 5月3 / 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡 政治



記

事業の名称	地域防災体制強化事業(第4回防災訓練他)
事業実施前の状況	防災備品については今年度は、飲料水、長期保存可能食品、紙オムツ、トイレットペーパー、ティッシュ、サランラップ、歯ブラシ等生活関連品を中心に4か所の防災倉庫に取り揃えた。昨年度までは、割とハード面を取り揃えてきた。又第4回目を迎える防災訓練については、様々な訓練がややマンネリ化の傾向にあるので今年は避難誘導、避難所開設、避難者数の把握、パーティション、7つの班分けによる班ごとのディスカッション、クロスロードゲーム、AED操作訓練を主に取り組んでいきたい。
事業実施後の状況	防災備品は生活関連備品を中心に日常生活に不足すれば混乱をきたす備品に目を向けて取り揃えてみた。又、防災訓練に関しては上記の訓練について、あらかじめタイムスケジュールは作成したが大災害時の混乱を想定してあまり型にはめた訓練を実施しない方向であった。班わけによるディスカッション等で来年度以降の課題が見つかり反省資料を作成して次回以降に活かしていきたい。
事業の効果	防災備品については有事に一応対応出来る備品は取り揃えていっているが、さて大災害時に適切に混乱なく対応可能かという地域内を網羅出来る完璧な確証は無いが、少しでも地域に貢献出来れば幸いである。防災訓練については、4回目ということもあり徐々に浸透していっていると思われる。
今後の課題等	備品に関しては、地域住民の皆さんの要望を吸い上げて取り揃えるようにしていきたい。訓練に関しては、公助を得られるまで持ちこたえられる住民の自助、共助意識の高揚と思いやりの気持ち、そして防災リーダーの統率力と日常生活からのチームワークづくりが必要か。

平成26年3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡政治



記

事業の名称	防犯カメラ設置事業
事業実施前の状況	井口堂3-9-2と石橋2丁目6-11に架かる車瀬橋(通称赤い橋)は石橋小学校の登下校道であり地元住民の通勤、日常生活道路である。しかし、夜間は非常に暗く、又道幅も狭く痴漢や犯罪も危惧されている。悪質な犯罪や事件、事故の啓発と防止の為に防犯カメラを設置する。
事業実施後の状況	井口堂3-9-2と石橋2-6-11の2か所に防犯カメラを設置した。 照度やプライバシーにも充分配慮して設置した。
事業の効果	幸いにも防犯カメラを立会で再録するような事件、事故は発生していない。
今後の課題等	今後共、事件、事故の啓発活動として、主要な箇所を設置を考えている。

26年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域のこころを推進協議会
会長名 西田 政治



記

以上

事業の名称	石橋校区納涼大会
事業実施前の状況	昨今の経済状況のさびしい中、納涼大会を存続させるに必要経費への地域のご支援ご協力に限界を感じていた
事業実施後の状況	間隙に際し、補助金の充当で従来同様納涼大会が実施された
事業の効果	設営、出店等、全体的に地域の住民・学校の協力ご協力立っている夏の大きな行事に、多くの参加に加え、地域の方をも含め、得々盛大に楽しめた
今後の課題等	経済停滞のさびしい中、地域住民の年ごづくりエケられている納涼大会の趣旨にご理解いただき、ご協力をお願ひする

26年 5月 8日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 西岡政治



記

以上

事業の名称	地域イベント備品等の整備事業
事業実施前の状況	備品の消耗 破損 老朽化
事業実施後の状況	必要と見られる部分は更改された
事業の効果	これらの更改により 地域コミュニティ活動の 充実が図れた
今後の課題等	今後も必要に応じて、他の備品の整備 及び老朽化等の更改を行いたい

<様式4号>

2014 年 5月 3 / 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 西岡 政治



記

事業の名称	地域美化整備事業
事業実施前の状況	街を汚すものとして、一部の輩は同様に考えていたが、夕方の木イ捨てと居宅周辺(道路脇(側溝))の雑草が目につき、この両者が街の美化を損ねている。
事業実施後の状況	居宅周辺の雑草(除去)については、空地・空家など一部の居宅を除き、地域住民の方々が7月から8月にかけて草刈りを実施した結果、随分スッキリした。 夕方の木イ捨てについては、心ある人にはアウェイだと考えられ、一部の木イ捨て常習者に行動を改めさせるには至っていない。
事業の効果	地域住民の心ある方々の「美しいまちづくり」をしようとする意識、モチベーションが向上した。 同時に、コミュニティとしての一体感もより深まったと思われる。
今後の課題等	「平気な道路を汚す非協力的な人」という意識が根付いた。協力してもらう」と課題とし、来年度以降も当該事業を継続実施し、目に見える形での成果が現れるようにしたい。 おまわりとして、「花と緑にあふれたまちづくり」も取り組んでいきたい。

26年 5月 31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域230=リサイクル推進協議会

会長名 西園政治



記

以上

事業の名称	リサイクル活動事業
事業実施前の状況	この事業により 資源の有効利用を図ると共に住民の意識を高める。
事業実施後の状況	住民の意識を向上し、指定容器設置場所の増加を図れた。
事業の効果	回収作業時の労力を得て、キョウフの回収量に応じて人アランダを西された。
今後の課題等	設置場所の拡大を図る 住民への広報活動の充実 回収の効率化の者 方法と決定

<様式4号>

2014年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 西岡 政治



記

事業の名称	箕面川美化整備事業
事業実施前の状況	箕面川美化整備の取り組みである「ふくの木のグリーン」が地域住民に十分認知できておらず、総会の場では活用できていない。 地域住民からグリーン教室開催の要望があった。
事業実施後の状況	開催当日は雨天のため「ふくの木のグリーン」での開催はかまわずからたかみ。参加者には口頭で「ふくの木のグリーン」をアピールすることになった。 また、参加者は悪劣な苦難から寄せ植えに取り組み、グリーン教室の一端を習熟することになった。
事業の効果	「ふくの木のグリーン」を地域住民に今後以上に総会の場では活用してもらうこと一層行われる。 参加者にグリーン教室の興味を持ってもらうこと、現在の「河川のふくまをグリーン」から今後「緑と緑のふくまをグリーン」として新しいグリーン教室をスタートさせる。
今後の課題等	水辺の場みや木の育成と課題としてまた、奨励部隊の里親の会の現在の陣容（実質活動している人は少数で且つ高齢化）では実現の見通しがないため、来年度には一旦サポート（支援）を打ち切りたい。 ふくの木のグリーンの整備は、今後里親の会単独でも実施可能。

平成26年3月 3 / 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡政治



記

事業の名称	AED配置事業
事業実施前の状況	H・20年に井口堂北会館。H22年石橋北会館。H24年旭丘会館にAEDを設置。
事業実施後の状況	今年度は石橋北会館のパッド交換。
事業の効果	幸いにもAEDを使用するような事例は発生していない。
今後の課題等	緊急使用時の冷静、適切な対処。

平成26年3月 3 / 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡政治



記

事業の名称	自転車安全教室(ファミリー運転教室)
事業実施前の状況	最近自転車の増加とともに、自転車と車、歩行者とのトラブル、事故が著しく増加している。自転車の2人乗りや、携帯電話やスマホのながら運転等マナー違反が目に見え、実情である。自転車の正しい乗り方や、交通ルール、罰則等を分かりやすく解説し又実技を行うことにより、自転車事故の軽減と啓蒙を図る。
事業実施後の状況	3月9日に石橋小学校の体育館、運動場で池田警察署、交通安全協会のご協力で約80名が参加して実施した。体育館で交通ルール、罰則等を学び、運動場では交差点の正しい渡り方やバランス感の実技を行った。
事業の効果	学校の授業の一環として、春や秋の交通安全週間等で継続的に地道に行うことで徐々に浸透していくことが出来得ると思われる。自転車のマナーアップと啓蒙の為に今回幟旗を購入したので、効果的に使用して自転車事故の軽減に取り組んでいってほしい。
今後の課題等	道路改正法の改正による自転車の罰則強化と事故に対する裁判での賠償金の発生に対しての自転車の自賠責保険等の加入の必要性。

2014年 3月30日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
 会長名 西岡政治



記

事業の名称	公園整備等事業(井口堂公園(稻荷山古墳)の外柵整備事業)
事業実施前の状況	公園入口が傾斜し、入口附近に土止めがないため公園を利用したり降雨等により土砂が外柵から流失しており山が崩壊の危機に直面していた。
事業実施後の状況	土砂の流失防止と公園利用を図るためプラ擬木で土止めと入口を階段状に整備した。 階段付近を見栄えと土止めを兼ねてプランターで花飾りした。
事業の効果	階段を設置したことにより、入口が分かり易くなり、登り易く公園を利用したり、稻荷山古墳の見学する人が増え、地域の人が自発的に草刈りや花植えして公園らしくなった。
今後の課題	今回の事業の入り口付近に限らず、外側一帯の傾斜の土砂流失も激しく、早急に外柵をしっかりと整備する必要があると思う。

平成26年3月 3 / 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡政治



記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	昨今は、街路灯の整備が進み、夜間も比較的安心して通行できるようにはなっている。 しかし、長年の使用によって、照度不足や器具の破損、消えてしまっている街路灯もある。
事業実施後の状況	今年度は井口堂3丁目7-19.旭丘3-6-1.旭丘3-1-6の電柱に街路灯を設置した。
事業の効果	以前よりも地域内各所とも格段に明るくなり、安心、安全性が強化されたように感じる。
今後の課題等	順次LED化。

2014年 2月20日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 西岡政治



記


事業の名称	異学年交流事業
事業実施前の状況	同学年、同クラスの交友より気薄となりがちな異学年との交流により上級生は下級生を労り下級生は上級生（祖父母、両親等）を慕い敬う人間関係を育成し、地域住民間も顔馴染みとなり、仲良くなるように仕掛ける。
事業実施後の状況	登下校の通学時や歩行時に交流会参加者児童から挨拶、目礼を送り親しさを表し、地域住民同士も挨拶する光景が増えた。
事業の効果	寒い中、多くの児童住民が参加し、楽しく、可笑しく、美味しく大きな声で歌い参加者全員が楽しい時間が過ぎた今後も開催して欲しいとの要望する声が多くあった。 料理教室に参加した児童は、家でお手伝いを自ら出て来るようになって喜んでいるとの声も聞こえてきた。
今後の課題	1回限りの事業とせず継続的に季節を変えて行い、今回参加出来なかった人を呼び込み、事業内容を募集する等考慮して押し進めたい。

以上

26年5月12日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
 代表者名 兩岡 政治 

記

事業の名称	地域を知ろう「石橋の昔と今」冊子作成事業
事業実施前の状況	教育委員会が地域を知ろうと言う事業がきっかけとなり、古墳、町名の由来、昔の人の生活、行事等を纏めて冊子を作成した。
事業実施後の状況	小学生何人が内容に作っていき、資料集めに協力していただき、お話しを聞き取りし、結果この地域の歴史を築き見とほりまいた。
事業の効果	石橋小学校で児童の授業で地域を学習する時にこの冊子を活用してくださるとのこと。
今後の課題等	この冊子の冊子を作った時は小学生やPTAのメンバーが入ると違つて角度が違つてくるのではと思われます。